

※本リリースは 2022 年 11 月 29 日に Swift が配信した[英語版](#)の抄訳です。

Swift Go、採用銀行数が 3 倍に。国際送金における顧客体験の向上を目指す G20 の目標達成に大きく前進

- 迅速で透明性のある小口送金を可能とする Swift Go は、120 以上の国・地域において 500 を超える銀行が契約
- Swift Go 採用の大幅な増加により、G20 が掲げた国際送金の速度、コスト、透明性、選択肢、および利便性の向上という目標の達成に向け勢いが増している
- Swift Go は、13 年連続で取引量の増加を記録した Swift が 2022 年に提供を開始したイノベーションの一つ

2022 年 11 月 29 日、ブリュッセル発—Swift は本日、2022 年に国際送金の顧客体験の改善、小口送金における新しい基準の展開、事前検証機能によるフリクションの軽減、証券業界への新たなレベルの透明性の提供、中銀デジタル通貨（CBDC）の金融エコシステムへの統合といった革新的なイノベーションの数々を提供するという、G20 が定めた目標の達成に向けて本年大きな進展があったことを確認しました。

今回の進展は、世界中の約 40 億の口座間でインスタントかつフリクションのない送金を可能にするという過去 2 年間注力を持続してきた Swift 戦略の結果であり、国際送金の速度、コスト、透明性、選択肢、および利便性を改善するという G20 の目標と一致しています。2022 年の Swift の成果は次のとおりです。

- 速度の向上**—現在、Swift を使った送金取引の約半分が最終受益者に 5 分以内に到着し、3 分の 2 が 1 時間以内に到着しています。送金の 75% を 60 分以内に決済するという G20 の目標に向けて、順調に進んでいます。
- 中小企業と個人に選択肢を提供**—金額が 1 万ドル未満の送金におけるスピード、透明性、確実性をもたらす Swift Go は、120 以上の国・地域において 500 を超える銀行が契約し、昨年比 3 倍増となりました。
- コストの削減**—Swift による送金の事前検証サービスは、送金指図が実際に送信される前に、匿名化された 40 億以上の口座の集計データを利用して口座の詳細情報を事前確認し、エラーを検出します。本サービスの導入により、送金取引のエラーを修正するためのコストを毎年おおよそ数百万ドル規模で削減でき、現在主要市場の受益者口座の 70% をカバーしています。
- 透明性の向上**—Swift は、gpi による送金の透明性を、証券プロセスにも適用します。Swift のセキュリティビュー（Swift Securities View）は、2022 年に試験運用に成功し、2023 年に展開される予定であり、証券のポストトレードのプロセスに前例のない透明性を提供します。取引のフェイルにより、証券業界は毎年推定 30 億ドルの損失を被っているという試算もあります。

•Swift ソリューションへの利便性の拡大-アマゾン ウェブサービス、グーグルクラウド、マイクロソフトアジュールなどのパブリッククラウドサービスと API の利用を可能にし、より使いやすい Swift サービスの実現に努めています。

Swift のチーフ・ストラテジー・オフィサーであるティエリー・チロシ (Thierry Chilos) は、次のように述べています。「Swift は、コミュニティと共に国際送金を変革するだけでなく、明日のイノベーションの実現に向けて、本年大きな進捗を遂げました。Swift は、さまざまな方法で行われる国際決済に対して準備を進めており、包摂性と相互運用性に重点を置き、決済の効率性の向上とリスクの軽減を目指します。」

Swift は、本年 10 月、DLT 及び法定通貨の決済システム間で中銀デジタル通貨 (CBDC) とトークン化資産を交換する方法の実証に成功するという、革新的なイノベーションを発表しました。Swift のイノベーションは、世界中に存在する「デジタルアイランド」を相互に接続できることを証明し、インスタントかつフリクションのない送金と証券決済を可能にする技術の実現性を示しました。現在、CBDC ソリューションは、18 の中銀および国際的な商業銀行でテストされています。

Swift は、本年 13 年連続で前年比年間取引量が増加する見込みです。2022 年 10 月末までに Swift のシステムを通じて一日当たり平均 4,480 万件のメッセージが送信され、前年同期比 7.7%増加しています。この成長は、Swift に対する業界による信頼の現れと言えます。Swift は、卓越した運用水準に注力しており、安定性の高い稼働と運営を継続しています。

Swift のチーフ・プロダクト・オフィサーであるデビット・ワトソン (David Watson) は、次のように述べています。「Swift は、本年極めて速いペースで一連のサービスを提供してきました。来年は、業界全体の ISO20022 への移行開始やトランザクションマネジメント機能の強化等リッチデータ活用の利点を実感できる年となるでしょう。Swift は、責任を持ってイノベーションを推進し、国境を越えた体験の変革を通じて、G20 の目標の実現に向けて勢いを加速させてまいります。」

国際銀行間通信協会（Swift）について

Swift はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。Swift は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

Swift は 200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。Swift 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

Swift は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。また、コストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。また Swift は国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

Swift はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

Swift 広報担当 ウェーバー・シャンドウィック トウ・末永

電話：(03) 5427-7411 / 7311

メール：SwiftJapan@webershandwick.com